



午後の中学校模擬授業では、江田島市立江田島中学校の米澤正晋教諭、戸川結惟教諭に、『二人の弟子』（出典：『私たちの道徳』文部科学省）を教材として使用した授業を TT 形式で発表していただきました。



「内なる自分に恥じない生き方」を主題として、二人の弟子と上人という三人の振る舞いの対比から、自分の弱さを克服するにはどうすればよいかを考えると、という授業構成でした。



研究協議では、難解として知られるこの教材を扱うときに、どうすれば生徒が自分に引きつけて教材に接することができるかについて、この教材を道徳の極点として位置づける見方にも触れながら、様々な議論が交わされました。

模擬授業の後にはシンポジウム「いじめと道徳」を行いました。



現場で長年指導にあたってこられた堀江信之先生（庄原市立庄原中学校）をコーディネーターとして、研究者の立場から竹田敏彦先生（安田女子大学）、衛藤吉則先生（広島大学）、上村崇先生（福山平成大学）にそれぞれの立場から「いじめと道徳」の問題について発表していただきました。



フロアからの質問では、現役教員や大学院生から多数の質問があり、いじめ関係にある生徒との対話の難しさやネットいじめの問題について、活発な議論が交わされました。